

唐津市 ★★★★★★

議会だより

第61号 (平成30年12月1日)

目次

- ・議案質疑 P2~P3
- ・平成30年度9月補正予算 P4
- ・常任委員会審査報告 P5・P6
- ・一般質問 P7~P13
- ・平成29年度決算報告・議案質疑 P14・P15
- ・意見書(要旨) P15
- ・現地調査・市議会議員・編集後記 P16



人権ポスター

入選 筒井愛華 (伊岐佐小学校)



議案質疑

提出された17件の議案に対して各会派から13名の議員が質疑を行いました。要約して報告します。

●凡例

総務…総務部長、政策…政策部長、財務…財務部長
市民…市民部長、保健…保健福祉部長
農水…農林水産部長、経観…経済観光部長
未来…未来創生部長、都市…都市整備部長
ボ企…ボートレース企業局長、教育…教育部長

寄附返礼額5割から3割へ

◎ふるさと寄附金推進費
◎ふるさと寄附金基金積立金

【概要】

寄附金の増加に伴い、返礼品等の経費を追加。

【概要】

唐津を含む国の示す

基準に従わない12自治体を公表されたが、市の考えは。

【政策】

換金性の高い商品や、電化製品類は取り扱っておらず、唐津産品を中心に行っており、制度の趣旨をとらえていると認識していた。今後、

返戻割合3割以下の地場産品とする。

【政策】「自然環境保護」、「文化遺産の保存・整備」、「青少年健全育成」、「障がい者や高齢者に優しいまちづくり」の大きく4つの分野に活用。

安全・安心な水産加工品を目指す！

◎水産埠頭地区加工処理施設他整備事業補助金

【概要】

唐津港水産埠頭地区における水産加工業者の競争力強化と地域雇用の確保のため、再生計画に基づき実施される関連施設の整備に対する補助。

択された経緯は。

【農水】

唐津水産加工団地協同組合は、将来の維持コストも含めた最も合理的な排水処理方法への改修を計画している。その施設規模の適正や機能向上を図る計画が省エネ化の取組として認められ、資源エネルギー庁の「エネルギー使用合理化等事業者支援事業」により採択された。

事業に対する補助率は。

【農水】県の要綱により国33%、

県15%、市15%となっている。

【政策】

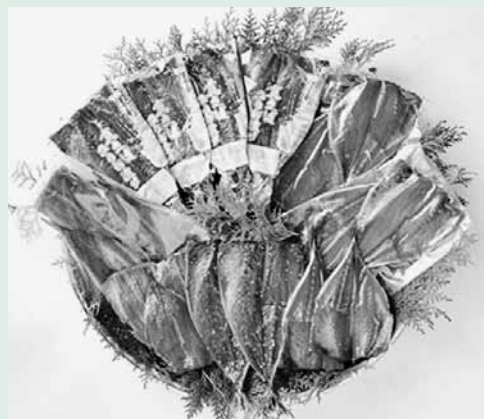
「汚水処理施設の現況と本事業の効果は。

【農水】昭和49

年に市施工で建設された「汚水処理施設」は、平成9年に酵母処理方式による処理棟の改



水産埠頭



地場産の返礼品

修を行ったが、「沈砂・流量調整施設」や「汚泥処理施設」は建設当時のままであり、構造物や機器等の老朽化によって処理機能が著しく低下している。施設の維持費や修繕費が増大しているうえ、老朽化した現行施設では、

安定稼働が困難な状況。施設を利用する会社の機械の効率化や取り扱う魚種の変化により、汚水の処理量も建設当時とは変化していることから、必要規模に応じた施設への改築を行い、維持管理コストの削減に努める。

ボートレース場の改修遅れる！

【概要】

競艇場本場設備の改修工事に必要な設計図書等を作成する。

質疑 改修工事の完了が約

1年程度遅れることになった経緯は。

答弁【ボ企】当初デザインビルド方式による設計施工一括方式で発注することと進めていたが、大成

建設㈱が平成30年3月から平成31年6月までの15ヶ月間の指名停止となり、このために新たな工事契約は締結出来ない。再度工事業者選定のため工事が遅れる事となった。

質疑 大成建設㈱の実施設計書を活用することにより、何らかの問題が生じないか。

答弁【ボ企】10月に実施設計は完了予定。その契約等については特に問題が発生することはない。

7月の豪雨災害、総額約32億2千万円！

◎災害復旧費（全般）

【概要】

平成30年度7月に発生した豪雨により被災した農地・農業用施設、林道施設、土木施設、公園施設、観光施設、体育施設、住宅裏の山腹を復旧し、保全を図る。

◎質疑 7月豪雨災害の全体像と国の補助は。

像と国の補助は。

答弁【財務】7月補正予算での専決処分が災害復旧費として約2億7千万円。

◎質疑

災害復旧を進めるに当たっての考え方は。

9月補正予算で農林地崩壊防止事業費、海水浴場景観保全事業費等、関連事業も含め約28億9万円。これ以外にも専決処分した7月補正以前に、崩土除去など緊急に着手すべき経費で約6千万円の予備費を充当。

今回の豪雨災害は、激甚災害に指定された為、国庫補助金が施設ごとに率は異なるが、かさ上げされる。

◎答弁【都市】公共土木施設災害復旧工事

は、設計金額により随意契約や指名競争入札での発注となる。早期発注に努める為、施工箇所や工種等を考慮しつつ、合併による発注の検討や市内業者の均一な発注の機会も考慮しつつ、年度内完了を目標に、災害箇所への復旧に努める。



豪雨災害



ボートレースからつ

平成30年度唐津市一般会計補正予算

53億8,007万5千円を可決しました!

その補正の概要は、次の通りです。

(累計746億6,727万7千円)



【総務費】

・賦課徴収事務費	292万3千円
・ふるさと寄附金推進費	11億5,793万6千円
・ふるさと寄附金基金積立金	6億4,206万4千円
・唐津市民交流文化基金積立金	2億 29万8千円

【民生費】

・福祉基金積立金	20万円
・地域共生ステーション推進事業補助金	400万円
・国民年金事務費	118万円
・重度障害者地域生活重点支援事業費補助金	28万4千円



【農林水産業費】

・農地中間管理事業費	201万9千円
・猪等駆除事業費	4,375万5千円
・強い農業づくり交付金事業負担金	87万9千円
・農業基盤整備促進事業費	1,790万円
・農林地(林地)崩壊防止事業費	1,910万円
・漁業用燃油高騰緊急対策事業補助金	604万円
・水産埠頭地区加工処理施設他整備事業補助金	4,266万3千円

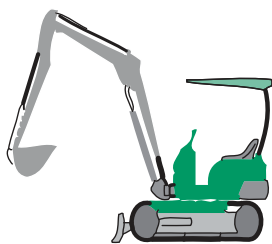
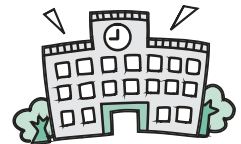


【商工費】

・海水浴場景観保全事業費	522万円
--------------	-------

【教育費】

・佐志中学校校舎等大規模改造事業費 (継続費初年度分)	1億9,580万7千円
--------------------------------	-------------



【災害復旧費】

・平成30年災害農地・農業用施設復旧費	18億1,067万6千円
・平成30年災害林業施設復旧費	5億4,670万円
・平成30年災害土木施設復旧費	4億5,586万3千円
・平成30年災害公園施設復旧費	4,000万円
・平成30年災害観光施設復旧費	154万6千円
・平成30年災害体育施設復旧費	965万6千円

《特別会計》

【国民健康保険特別会計】

・国庫支出金等過年度分返還金	1億 892万8千円
----------------	------------

【後期高齢者医療特別会計】

・後期高齢者医療広域連合納付金	303万2千円
-----------------	---------

【介護保険特別会計】

・介護保険基金積立金	9,421万2千円
・国庫支出金等過年度分返還金	2億1,402万9千円

【モーターボート競走事業会計】

・開催費	2億6,111万2千円
・設備改良費	1,596万7千円



常任委員会審査報告

総務教育委員会

議長より付託された案件について審査しました。

◎ふるさと寄附金推進費

(議案第74号・議案第104号)

質疑 唐津市民が他の自治体に寄附した額は。

答弁 平成29年で、1161人で約9700万円の寄附額。それに伴う市民税の控除額が約4200万円となっている。

質疑 議案第74号時点では、33億円(総額53億円)の増額を見込まれ、議案第104号では、増額した金額から15億円(総額38億円)の減額議案となっているが経緯は。

答弁 当初は、返礼割合を来年4月以降に国の意向に沿って見直す考えだった。しかし、平成30年11月1日時点で行われる総務省の調査により、税控除の対象外自治体に決定される可能性があるかと判断したため、急ぎよ返礼割合を変更する方針を固めた。返礼割合は、現行の5割以下から、3割以下へ改める。

質疑 返礼割合を下げる事で寄附額が下がる見込みだが根拠は。

答弁 今年と昨年の9月までの実績を比較したところ、約155倍の伸びとなっており、これに減額した他の自治体の実績等を参考に直視し、平成30年11月からを約50%と見込み、年間38億円の見込みとし、差額を計上した。

質疑 返礼割合を下げる事で、返礼品としての商品の売り上げは。

答弁 市の収入総額は1.2になり、返礼品としての売り上げは1.3以下になる。

質疑 返礼割合の変更にどの様に対応するのか。

答弁 現行1万円の寄附額を、1万7千円と上げ、返礼割合を下げる。また、寄

附額1万円が多いので、納入業者が、3千円以下の返礼品を準備出来た段階で、順次、寄附額1万円のコーナーを増やす。

質疑 返礼品の提供事業者への対応と事業者の反応は。

答弁 9月28日に各事業者へ郵便とメールを送った。また、返礼品の取り扱いが多く影響が大きい事業者には、直接電話で直前の連絡と今後の対応について協議を行った。情報提供が遅いと指摘された方も一部あったが、急な見直しにも関わらず、概ね理解を得ている。

質疑 今後の事業展開は。

答弁 魅力ある返礼品、事業を展開する自治体に寄附金が集まる。そこで、被災地支援、見守りサービスなど新たなサービスの展開と豊富な地場産品の情報発信により、ふるさと寄附金の維持、推進、地域経済の活性化に努めたい。併せて、予定していた新サイトを11月中旬に立上げ、より幅広く寄附金を募る。

◎議案第87号高規格救急自動車購入契約締結

質疑 高規格救急自動車の仕様と、備品の取扱は。

答弁 ハイルーフのロングボディ仕様。高度救命資機材等は別途約1000万円程必要となる。

質疑 高規格救急自動車購入計画は。

答弁 平成32年度南部分署、平成34年度東部分署、北部分署、平成37年度に本署西部分署の計5台の更新計画がある。

《現地調査》

- ・佐志中学校(佐志)
- ・中部分署(石志)

常任委員会審査報告

産業経済委員会

議長より付託された案件について審査しました。

◎農業基盤整備促進事業費

質疑 玉島地区パイプライン布設替え工事の必要性及び概要は。

答弁 玉島川の改修と国道323号線の改修に併せて、老朽化したパイプラインと水管橋を上流側に移設するもの。

◎水産埠頭地区加工処理施設整備事業補助金

質疑 加工団地に対する支援はこれで終了するのか。

答弁 一部、老朽化した水管の交換が残っている。

質疑 加工団地の事業者の数は。

答弁 22社であったのが18社となっている。

◎平成30年災害農地・農業用施設復旧費

質疑 一日も早い復旧への体制づくりは。

答弁 10月1日から災害査定を受けており、約2ヶ月間にわたって復旧する予定。関係者が多い農道や水路の施設から復旧し、農地については地元と協議し行う。

質疑 施設栽培で時期を急ぐものに対して、優先順位をつける考えはあるのか。

答弁 国の予算のつき方、また、業者の対応などもあ

り、地元の方の話を伺いながら、次の生産に支障を来さないような順位付けをして、復旧していく。

◎唐津市民交流文化基金積立金

質疑 九電から2億円の寄附金があり、これで5億の内3億5千万円が入り、残りはいつ入るか分からないということである。5億円入れば市民交流プラザの運営は、大体何年ぐらいの持ち出しがないのか。

答弁 20年弱と考えている。

質疑 唐津シネマの会の映写会がパティオの方に移れば、収入が減るのでは。

答弁 年間90万円ほど収入減を見込んでいる。

質疑 収入増に対する計画は。

答弁 建設当時の目的や財源、それに合わせて現状がどうなのかを調査し、今後の検討会議で利用率の向上と収益を上げる方策等について検討する。

《現地調査》

- ・玉島地区パイプライン布設替え工事現場(浜玉町)
- ・観音の滝(七山滝川)
- ・浜玉平原運動広場(浜玉町)

常任委員会審査報告

都市整備委員会

議長より付託された案件について審査しました。

◎平成30年災害土木施設復旧費
【質疑】被害の件数は。

【答弁】道路災害が226件、河川災害が15件で合計241件。

【質疑】1000万円以上の災害は。

【答弁】7件で、被害最高額は市道佐志平木場線で4000万円。

【質疑】激甚指定を受けたが補助率は。

【答弁】公共土木災害の場合は高上げの対象には該当しない。

【質疑】補助残の1億2千万円は、起債の対象となるのか。

【答弁】起債の対象となり、起債対象額の95%が交付税処置がなされる。

【質疑】今回の災害で、里道災害や急傾斜崩壊の災害はなかったのか。

【答弁】里道（法定外道路）11件、急傾斜17件の報告があった。

◎平成30年災害公園施設復旧費
【質疑】舞鶴公園法面の復旧工法は。

【答弁】FRP製の格子状パネルを設置しその上部に崩壊面の侵食防止のため、モルタル吹付で保護を行う。

【質疑】補助対象とならなかったのか。

【答弁】今回は法面のみが崩壊、

公園施設が崩壊していないために補助対象とならなかった。

【質疑】復旧工法について県との協議はしたのか。

【答弁】佐賀県と協議の上、工法を決定した。

【質疑】スケジュールは。

【答弁】早期に発注し、年度内に工事を完了したい。

◎唐津市都市公園条例の一部を改正する条例制定について
【質疑】改正の内容は。

【答弁】地域の実情に応じた運動施設整備を可能とするため、運動施設率が参酌基準化されたことに伴い改正する。

【質疑】比率などは、市町村で決められるのか。

【答弁】条例の改正が基本であるが、地域の実情に応じた運動施設規模を拡大できることを目的としているため、各自自治体で決めることができる。

【質疑】駐車場は、運動施設に入るのか。

【答弁】駐車場は、都市公園法施行令により、便益施設に位置づけられているので運動施設には入らない。

《現地調査》

- ・古瀬2号線（浜玉町）
- ・佐志平木場線（竹木場）

常任委員会審査報告

市民厚生委員会

議長より付託された案件について審査しました。

◎福祉基金積立金
【質疑】寄附金額の推移は。

【答弁】過去3ケ年の状況は、平成27年度108万円、平成28年度43万円、平成29年度31万円5千円となっている。

【質疑】基金残高の推移は。

【答弁】平成27年度は12億1千万円程度だったが、平成28年度は9億8千万円程度、平成29年度は8億7千万円程度で減少している。

【質疑】基金の今後の活用見通しは。

【答弁】今後も福祉施策に充当していくが、充当の仕方、取り崩しの仕方などルールづくりについて財政局と協議を進めている。

◎地域共生ステーション推進事業補助金
【質疑】設置基準及び人員基準は。

【答弁】利用者の自己負担であり、保険外サービスとなる。約15名の高齢者と障害者、児童を対象に想定。従事者は3名に対し1名程度の予定。

【質疑】市内に宅老所を含め39か所あるが、各地域の設置状況は。

【答弁】旧唐津地域を13地域、旧町村各1施設で計画。施設がない地区は肥前、鎮西呼子である。

【質疑】施設がない地域の推進は。

【答弁】市の計画では、各年度1施設を計画し、今後も計画に沿って推進する。

◎国民健康保険特別会計
【質疑】県が設定した収納率に対する市の状況は。

【答弁】佐賀県の目標収納率94%に対し平成29年度は95.7%である。

【質疑】目標を下回った場合はどうなるのか。

【答弁】赤字決算となれば当年度は県の基金から借り入れ、返還するため翌々年度から3年間、保険税に上乘せされることとなる。

《現地調査》

- ・地域共生ステーション（和多田）

議会を傍聴してませんか

9月定例会の傍聴者は、本会議延べ35名でした。次回の市議会定例会は12月に開かれる予定です。車椅子専用の傍聴席（2席）も整備されています。

一

般

質

問

9月定例会の一般質問は、9月12日から18日の4日間行われ、20名の議員が登壇しました。

市民の声を代弁する 一般質問の掲載について

一般質問の記事は、決められた文字数のなかで、議員本人が質問・答弁の原稿を提出し、その内容に相違がないときは原則として原文のまま掲載をしています。質問の文章を多くしたり、答弁を詳しく表現するかは各議員の判断としています。

●凡例

総務…総務部長、政策…政策部長、財務…財務部長
市民…市民部長、保健…保健福祉部長
農水…農林水産部長、経観…経済観光部長
未来…未来創生部長、都市…都市整備部長
ポ企…ポートレース企業局長、教育…教育部長
農局…農業委員会事務局長、消防…消防長、
鎮西…鎮西市民センター長、呼子…呼子市民センター長

【教育】みかんのオブジェは、年を重ねて汚れ「腐りかけたみかん」のようになっていて、塗り替えには約百万円かかるという事だが、塗り替えの考えは、
【教育】毎年、塗り替えの要望が上がってきている。したがって長寿命化の一



成和小学校



伊藤 一之
(社民党)

成和小学校の高架水槽の塗り替え及び児童による伝統継承について

【質問】成和小学校の校舎屋上には、みかんを模倣した高架水槽が設置されている。このみかんのオブジェの効果もあって、成和小学校は「みかんの学校」と呼ばれ、地区内はもろろ市内の多くの方々に親しまれている。このオブジェに対する教育委員会の認識は、
【教育】小学校建設前はみかん畑であり、平成3年の校舎竣工時に、そのみかんをモチーフとしてオブジェを設置した。成和小学校のシンボルとして親しまれていると考える。
【質問】みかんのオブジェは、年を重ねて汚れ「腐りかけたみかん」のようになっていて、塗り替えには約百万円かかるという事だが、塗り替えの考えは、

環として、外壁塗装工事や高架水槽取り換え工事の際に、みかんオブジェの再塗装や交換を検討したいと考える。
【質問】災害時には災害情報を確実に伝えることが重要である。市の災害時の情報伝達ツールにはどんなものがあるのか。
【総務】市民に対する情報伝達の手段は、メール、ホームページ、チャンネルから、防災行政無線、FMからつ等がある。
【質問】情報災害メールの登録者数が増加しない原因と対策は、

【総務】高齢者等で登録の仕方がわからないとかスマートフォン等で災害情報が入手出来ることも要因か。毎年、市報6月号で登録を呼びかけている。
【質問】国文化財保護法が一部改正されたが、その要点は、
【教育】文化財の散逸等の防止が緊急の課題でもあるので、未指定を含めた文化財をまっちりに生かしつつ、地域社会全体

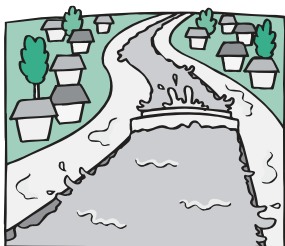


石崎 俊治
(志政会)

防災について
【質問】7月初め唐津市を襲った豪雨災害を受けて、今後の防災対策の課題は、
【総務】避難勧告の周知や情報の伝達、対策本部会議の迅速化、防災無線を始めとした市民への情報伝達、防災無線の課題、要支援者への対応、避難所の在り方と設備等々、全部で十三項目の課題について対応を考えていく。
【質問】今後の防災対策の在り方について、

【市長】災害から命を守るために、一人ひとりが備えておくと同時に地域や集落でも、助け合いが出来るよう、日頃から話し合いをしていただく事が大事だと考える。
【質問】文化財について
【質問】国文化財保護法が一部改正されたが、その要点は、
【教育】文化財の散逸等の防止が緊急の課題でもあるので、未指定を含めた文化財をまっちりに生かしつつ、地域社会全体

でその継承に取り組んで行く事など。
【質問】維新博等での、旧唐津銀行に対する専門家の評価は、
【経観】専門家の先生方から、赤レンガに白い御影石混ぜ「屋根に小塔やドームを乗せた「辰野式」のデザインを色濃く残す「旧唐津銀行」が、辰野の生誕地である唐津に残っている事に対し高い評価を得た。来年は、辰野金吾没後百年という節目の年でもあるので、市として、「辰野金吾生誕の地唐津」を全国に向けてPRしていきたい。
【質問】北波多野球場の移転について、
【未来】移転用地や財源等の課題があるので、関係部局や市民センターと協議検討していきたい。





江里孝男
(志政会)

災害の対応について

質問 7月災害での避難者の数は。

総務 ピーク時で309世帯1243人であった。

質問 避難の周知は。

総務 防災行政無線や災害情報メール等、現在とり得るすべての方法で周知をした。

質問 土砂災害警戒区域や浸水想定区域内にある避難所は。

総務 鬼塚公民館、鬼塚小・中学校、伊岐佐小学校、玉島小学校、浜玉中学校、旧蔵木小学校広川分校等がある。

質問 土砂災害警戒区域内にある避難所は問題がある。変更をすべきでは。

総務 避難所については、抜本的な見直しを検討したい。

質問 防災行政無線は、聞こえにくい。戸別受信機を設置すべきでは。

総務 メール受信ができない所については設置について検討する。

質問 ハザードマップ作成の進捗状況は。

総務 入札は終わっている。1月に全世帯に配布。

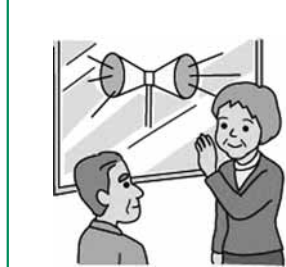
質問 ハザードマップの学校での活用は。

総務 ハザードマップを活用した学習の機会を検討する。

質問 7月豪雨での消防団の出動人員と活動内容は。

消防 4日間で述べ約2300人が出動。交通整理や避難の呼びかけ、避難誘導にあたった。

質問 休校などの判断は誰がするのか。



教育 学校教育法で校長が決定するようになっていく。その後教育委員会に報告する。

質問 学校は、情報不足である。情報を集める組織を作るべきでは。

教育 どのような組織がいいのか、今後検討する。



白水敬一
(公明党)

集中豪雨等災害時における対応・対策について

質問 ライブカメラの現状と活用は。

総務 市設置は17台、国は26台。位置、方向等点検し周知整備活用について関係者と検討する。

質問 防災メールの登録現状と推進は。

総務 1万662名87%の登録。消防団員は全員、様々な会合・行政放送等で推進していく。

質問 災害時の避難所の現状と改善について。

総務 指摘があった交通手段、選定、△場の空調・床・食料について検討していく。

質問 蔵木ダムの大雨時の放流基準と周知・地元の声を聴く協議会設置が必要だ。

総務 大雨でも洪水調整がされ周知している。地元の声を聞く場を設けるよう伝えていく。

質問 障がい者の就労支援について

質問 唐津市役所の法定雇用の現状は。

総務 35名、25%の雇用で障がい者手帳で確認している。

質問 A・B型作業所の現状と支援は。

保健 A型は3事業所74名、B型は16事業所325名で周知徹底に努め優先的な業務発注等きめ細やかな対応・支援をしていく。

質問 就業・生活支援センターの唐津市への設置が必要では。

保健 県内で4か所、設置は必要。出張窓口でも設置できるよう要望する。

質問 医療費抑制で伊万里市が全国一、唐津は県内で13位。今後の医療費抑制の取組は。

市民 健診の受診率向上、重症化予防を推進。

質問 唐津市役所の法定雇用の現状は。

総務 35名、25%の雇用で障がい者手帳で確認している。

質問 A・B型作業所の現状と支援は。

保健 A型は3事業所74名、B型は16事業所325名で周知徹底に努め優先的な業務発注等きめ細やかな対応・支援をしていく。

質問 就業・生活支援センターの唐津市への設置が必要では。

保健 県内で4か所、設置は必要。出張窓口でも設置できるよう要望する。

質問 医療費抑制で伊万里市が全国一、唐津は県内で13位。今後の医療費抑制の取組は。

市民 健診の受診率向上、重症化予防を推進。

質問 唐津ビジネスレックスの現状と市の対応は。

政策 生徒は減っている。市は要望・提案を伺い、協力していく。

質問 市の基幹産業である第一次産業にも対応できる学科を創設したり、市から提案行動すべき。

政策 市で活躍できる人材育成の拠点としていく。

質問 唐津市水産活性化支援センターの状況は。

農水 高度な機器もあり、世界に先駆けた先端的研究を行っている。基金は平成31年度が最終年度。

質問 市内の学力状況は。もつと現状をPRすべき。

教育長 小学生は全国平均を上回っている部門もある。教職員も意欲に満ちている。

質問 社会の変化に対応できる人材育成に努めるべき。異文化体験等、体験学習を体系化すべき。

教育長 生きる力の育成につながる様カリキュラムを体系化する。



山下正雄
(志政会)

学研都市構想について

質問 市内の学力状況は。もつと現状をPRすべき。

教育長 小学生は全国平均を上回っている部門もある。教職員も意欲に満ちている。

質問 社会の変化に対応できる人材育成に努めるべき。異文化体験等、体験学習を体系化すべき。

教育長 生きる力の育成につながる様カリキュラムを体系化する。

質問 唐津ビジネスレックスの現状と市の対応は。

政策 生徒は減っている。市は要望・提案を伺い、協力していく。

質問 市の基幹産業である第一次産業にも対応できる学科を創設したり、市から提案行動すべき。

政策 市で活躍できる人材育成の拠点としていく。

質問 唐津市水産活性化支援センターの状況は。

農水 高度な機器もあり、世界に先駆けた先端的研究を行っている。基金は平成31年度が最終年度。

質問 市内の学力状況は。もつと現状をPRすべき。

教育長 小学生は全国平均を上回っている部門もある。教職員も意欲に満ちている。

質問 社会の変化に対応できる人材育成に努めるべき。異文化体験等、体験学習を体系化すべき。

教育長 生きる力の育成につながる様カリキュラムを体系化する。

質問 唐津ビジネスレックスの現状と市の対応は。

政策 生徒は減っている。市は要望・提案を伺い、協力していく。

今後とも九大と連携する。

質問 佐賀大学アグリ創生教育研究センターは。

農水 大学生14人、院生5人が所属。市の農業発展に寄与する研究人材育成をしていく。

質問 市内の研究教育機関に対し、市の課題解決の為の研究をもつと進め、充実拡大していくべき。

政策 最新技術を活用した具体的取組みをする。

質問 コスメビジネススクール構想部会の内容は。

経観 専門職大学等、実現可能性を検討している。

質問 コスメビジネススクールが経済界や市全体に与える影響は。

経観 新しい文化や価値を生み国際都市化する。

質問 市の構想への対応は。最大限協力すべき。

市長 課題の克服が必要。構想を実現したい。

市長 課題の克服が必要。構想を実現したい。

市長 課題の克服が必要。構想を実現したい。

市長 課題の克服が必要。構想を実現したい。

市長 課題の克服が必要。構想を実現したい。

市長 課題の克服が必要。構想を実現したい。

市長 課題の克服が必要。構想を実現したい。



佐賀大学アグリ創生教育研究センター



伊藤 泰彦
(清風会)

地域包括ケアシステムの構築について

【質問】本市の現状と課題は。

【保健】本市は高齢化率が全国平均より高く、また、今後少子高齢化による生産年齢人口の減少等への対策が課題である。

【質問】本市の対応状況は。

【保健】内部では、平成28年10月「推進室」を設置し、平成29年4月に「地域包括支援課」を新設。本年度から、地域包括支援課を3係（庶務係・地域支援係・居宅介護支援係）にし、組織強化を図った。また、「在宅医療・介護連携支援センター」運営委員会」などで協議を積み重ねながら進めている。

【質問】今後の取組みについて。

【保健】医師会等の関係機関や介護事業所、生活支援体制整備に係わる地域の関係者、社会福祉協議会等と連携し、事業推進に努めていく。
ポータルースからの施

設改修と今後のあり方について

【質問】施設改修の日程は。

【ボ企】平成31年9月から平成33年3月迄。

【質問】改修後の施設概要については。

【ボ企】1階はワードコートイベントホールキッズスペース、ボルダリング、音楽スタジオ、読書スペースを予定。2階は、ポータルースエリア、3階は事務所を設置。

【質問】唐津市役所における障がい者雇用について

【質問】本年度より、精神障がい者が法定雇用率の算定基準に加わった。今後の市としての対応は。

【総務】精神障がい者や知的障がい者の雇用について、他の自治体を参考に雇用について研究する。



大西 康之
(志政会)

中小企業振興について

【質問】中小企業振興会議設置に向けての動向は。

【経観】準備会議を開催し進めている。併せて、企業データベースの作成は完了、事業者へのヒアリングに取り組んでいる。

【質問】振興会議準備会としては熟してきた。振興会議の立ち位置の明確化の為に、中小企業振興条例の制定が必要では。

【経観】条例により振興会議を設置した方が、議論も実効的なものとなるので振興会議設置の前に条例制定が適切。中小企業振興条例制定に向け、年内に条例案の作成を行う。

【質問】合併特例債充当事業見直しの状況は。

【財務】単年度に必要となる一般財源の額と比較し、年度間の平準化を図る為、本庁舎建設事業に集中した。政策調整会議に諮り決定。

【質問】本庁舎建設の進行状況及び今後の予定は。

【総務】6月下旬に基本設計完了。実施設計中であるが、市民の要望事項を反映させる為に3〜4ヶ月の遅れ。また、工事発注には、大臣認定、確認申請時の是正事項への対応等も必要となり、6〜7ヶ月程度遅れる見込。

【質問】唐津市民会館建替えて、平成35年完成だが、

【未来】財源も未定で、部内協議の状態。予定については改めて検討する。

【質問】市民会館の建設については、別敷地という意見もある。今後の公共施設を考えた時、複合用途の必要があるのではと考えている。そうなる

【政策】既存施設更新の場合、複合施設とする方針。今後、政策部において、関係部局と調整を諮って進めていく。

【質問】「被災農業者向け経営体育成支援事業」については。

【農水】梅雨期の被災を対象に国は被災農業者に対し復旧経費の一部を支援。

【質問】避難勧告の発令については。

【総務】①避難準備・高齢



古藤 宏治
(清風会)

防災について

【質問】甚大な被害状況については。

【都市】道の駅「厳木」の法面崩壊、土砂崩れによるJR筑肥線の脱線、徳須恵川護岸崩壊、相知町と浜玉町の土石流被害など。

【農水】北波多の約10haの農地崩壊など、各地で地滑りによる災害が多い。

【質問】復旧計画については。

【都市】県に対して緊急砂防ダム等の早期完成をお願いする。

【農水】「災害関連緊急地滑り対策事業」「砂防事業」「林業施設災害復旧事業」など関連機関と協議し早期復旧に務めたい。

【質問】「被災農業者向け経営体育成支援事業」については。

【農水】梅雨期の被災を対象に国は被災農業者に対し復旧経費の一部を支援。



西日本豪雨

者等避難開始、②避難勧告、③避難指示（緊急）の順で強くなる。

【質問】災害時の市民センターの権限は。

【総務】対策支部を設置して情報収集が主。

【質問】対応での反省点や課題については。

【総務】「地域防災計画」、「災害時職員初動マニュアル」、「避難所、要支援者、備蓄品、設備の問題」等を見直し災害対応能力を高めたい。

【質問】食料の備蓄の推奨については。

【総務】3日分を周知。

【質問】災害時でのドローンの活用については。

【総務】被害状況などの情報収集など災害時に貢献できる可能性が高いので全庁横断的な取り組みで関係部局と検討したい。



中川幸次
(公明党)

防災・減災について

質問 ハザードマップの策定状況と周知は。

総務 唐津市は、今年度事業でハザードマップを策定する。土砂災害危険区域や警戒区域なども表示される。HPでも見ることが出来る。

また、全戸配布後、地域の防災説明会はハザードマップを持参し、マイハザードマップに仕上げていただきたい。

質問 共助による防災活動推進のため「地区防災計画」の策定が必要では。

総務 唐津市地域防災計画での避難計画では、住民への伝達者として自治会の存在が有り、救助活動計画では自主防災組織等をもって「近隣に救助すべき者がいるか早期に把握する」など、自発的な地区の行動自体が必要不可欠となっている。

そこで、唐津市では自主防災組織の防災活動に必要な資機材を購入するための補助金や訓練実施

に伴う補助金制度を活用していただき、自主防災組織の立ち上げを支援していきたい。また、防災学習については、地域の防災説明会に参加し、ハザードマップ等を用いて大人や子供にわかる説明を継続的に努める。

質問 地球温暖化防止について

質問 地球温暖化防止に本気で取り組むため「世界気候エネルギー首長誓約」に参加するべきでは。

市民 「地球温暖化対策地域推進計画」の改訂に合わせ「行動計画」を策定し「首長誓約」に参加できるように前向きに検討。

質問 通学路の民間所有の危険なブロック塀等の撤去費用の補助制度は。

教育 今後の国の支援制度の動向を注視する。



宮崎卓
(清風会)

「若者定住」のまちづくりについて

質問 人口減少、生産人口の推移。

政策 20年前より一万八千人減で、鎮西・呼子地区で約二千人が減少。

質問 若者定住の取組み、特に新規就業状況は。

農水 市全体では五年間で117人。平成30年で見ると33人、その内45歳以下は28人。新規学卒者6人、民間企業からの新規参入者20人、その他7人。地域別では、鎮西地区3人、呼子地区0人である。

質問 市民センターの役割と機構改革の検討は。

政策 駐在員会等で検討中。来年度の機構改革案、10月頃方向性。条例改正が必要ならば12月議会で議案提出したい。

してやれる市民センターの機能集約の考えは。

市長 充分考えられるが地域の一体感が進み、そうした声が出てくれば、地域の意向を進める。

「花いっぱい運動」とまちづくりについて

質問 観光客入込状況。

経観 平成24年～28年はほぼ横ばい。平成29年はやや減少している。

質問 道路の緑化や花を植える緑化政策方針は。

都市 基本は市条例で「豊かな自然が人間にとって、かけがえのないものであることに鑑み、市民が一体となり緑と花に満ちた明るい環境整備を推進し、健康で清潔なまちづくりに資する」です。



吉村慎一郎
(志政会)

草刈について

質問 肥前名護屋城跡や各大名の陣跡管理状況は。

鎮西 除草作業は地元で組織された管理組合に委託している。

質問 将来にわたって持続的に管理を継続するためには、名護屋に布陣した全国の武将ゆかりの地域に呼びかけ、それぞれの陣跡管理や連携イベントの開催は有効な施策と考えるが。

鎮西 地域を盛り上げるための貴重な意見として関係部署や団体の皆さんと検討したい。

質問 今後、観光地として活性化させる施策は。

経観 鎮西市民センターと観光課が一体となり、佐賀県文化課や名護屋城博物館と連携し、様々な角度から検討を進めたい。

能な空き家がある。

質問 農地の権利取得要件は。

農局 農地法第3条の要件許可が必要。

質問 空き家の有効活用や移住促進、新規就農促進等の観点から、空き家バンクと農業委員会の手続きを連動させ、空き家に付随した農地の「別段の面積」の設定についての考えは。

農局 定住者による新たな農業従事者の確保につながると思われ、課題を整理し協議したい。

質問 今後の考えは。

市長 農地付空き家の利活用を図ることも移住促進の一つの方策と考えられ、各関係部署間の連携等を含め制度構築に向けた前向きな検討を進めたい。



前田利家陣跡



橋崎三千夫
(清風会)

後継者問題について

質問 後継者育成の農業次世代人材投資事業の交付状況は。

農水 45歳未満の新規就農者が対象。最長5年間年最大150万円、夫婦年最大25万円の支援策。過去5年間で延べ172名に支給し、平成29年度の38名のうち、個人就農者26名、夫婦就農者6組12名である。

質問 その他の支援策は。
農水 雇主への支援策として、研修生一人当たり年間最大120万円を最長2年間支給する支援がある。

質問 漁業後継者についての支援策は。

農水 新規漁業者確保事業の中に「長期研修支援事業」があり、独立型は、最長3年間、月最大28万2千円。雇用型は最長1年間、月最大14万1千円の助成がある。

質問 国の助成とは別に唐津市独自の支援策があると思うが。



農水 国の制度では交付対象とならない人の救済策として、明日の農業者チャレンジ支援事業と明日の漁業者チャレンジ支援事業があり、現在事務手続きを行っている。

質問 農業・漁業共、新しく始めるためには、初期投資が大きすぎるのが問題であると考え。対策として、農業では農地と家と管理道具等まで一体となったリース方式。漁業では、新船のリースではなく、中古船のリース方式だと経費も安価で取り組みやすいと考えるが、市の考えは。

農水 基幹産業である農業・漁業の後継者育成において、初期投資を抑える仕組みづくりも重要と考え、多くの情報を持っているJA等と連携し情報発信に努めたい。



原 雄一郎
(志政会)

観光地経営の見える化について

質問 新しく出来た「観光地経営戦略室」の目的と内容は。

経観 目的は「観光」を基幹産業の一つへと発展させること。内容については観光戦略会議において、戦略の方向性について議論を行っている。

質問 観光戦略会議とは。
経観 観光振興の課題に対し対策を図るため平成23年に設立したものが、今までは戦略を具体的に示したプランを策定していなかった。

質問 平成28年度の観光入込客数は726万人。これは沖縄県の876万人、北海道の823万人と比較すると異常な数字。原因は複数の地点を通過した同じ観光客をそれぞれの地点で計測し、単純に足しただけであること。早急に修正すべきでは。

経観 改善等について検討を行っている。
質問 戦略作成には正確



虹の松原

なデータが必要。GPS調査、GAP調査、観光消費額調査等が必要では。
経観 検討したい。
質問 得られた全てのデータを公開すべきでは。
経観 できる限りの公開に努めたい。
質問 ミニニを整備すべきでは。
質問 検討をすすめたい。
質問 公民館内図書の利用促進を進めるべきでは。
教育 進めていく。
質問 公民館職員の業務について、地元のニーズとのギャップや過剰な業務負担が発生している。見直す為にまずは地域のニーズを確認するヒアリングを行うべきでは。
教育 地域の方々の意見を伺いながら、業務の整理を行う必要があると考えている。



富田 幸樹
(志政会)

公共施設の適正な管理と計画について

質問 今後公共施設をどのように減らすのか。

政策 ①新規の公共建築物は、原則として整備しない②既存施設を更新する場合は、原則として複合施設とし、利用状況及び将来人口を見据えたい③規模を決定④民営化できる施設は、民営化を推進し、施設の更新を行わないと定め、約33%削減を進める。

質問 再配置計画検討委員の意見の状況は。
政策 統廃合を進める際には、地域住民の意見も聞いてほしい。公共施設再編について地域住民に意見を聞けば、どうしても今のままがいいとなるので、減らさないといけない時には、行政が主導しないと、公共施設の再編は進まない。地域の施設についてはできるだけ残してほしいなどの意見や、今後の人口減少や市の財政状況などを考慮し

た意見など様々な意見がある。
質問 公共施設の削減を進めるためには、断固たる姿勢が必要と思うが、市長の考えは。
市長 公共施設再編は、少子高齢化・人口減少が進み、今後も厳しい財政状況が見込まれるなか、本市においても、将来にわたって健全で持続可能な財政運営に役立てるためには、大変重要なことである。公共施設の統廃合を行う際には、様々な市民の要望があると思うが、人口の状況等を踏まえ、丁寧な説明を行うことでご理解を得、公共施設の再編に取り組む。
その他の質問
◎災害につよいまちづくりについて





水上市義 (志政会)

行政のスリム化について

【質問】唐津市公共施設白書によると、人口減少と

少子高齢化の進行が予想され、行政サービスの水準維持のためには、公共

施設の削減が必要となる。公共施設の統廃合は。

【政策】公共施設の再編に取り組むことは大変重要な事と考える。

【質問】平成27年度で76施設あるが、削減計画と実施された施設は。

【政策】公共施設等総合管理計画を策定し、公共建築物の削減について取り

組む。削減された施設は、解体が3施設・売却が3施設

ある。

【質問】市民センターの機構改革については、林業・

漁業等と市民課・福祉課などの市民サービスの部

分を集約する考えは。

【政策】市民センターの機能強化の検討を行っている。

機能集約については、検討したい。

【質問】市民会館の建て替えについて、同様の施設

が4施設あり効率利用で必要ないと考えるが、

【未来】文化的活用・福祉・教育で利用されており必要と考える。施設の再配置計画の方針に基づき、協議する。

【質問】嘱託職員の待遇改善について

【質問】職員数と報酬は。

【総務】現在の職員数は500名、報酬は一般事務で15

万円、日額7730円。

【質問】公民館事務員の定期異動が必要ではないか。

【教育】実施について検討していきたい。

【質問】旧鬼塚中学校の茶畑、植物園の活用について

【質問】茶畑、植物園の活用は道路と地域の方々の

協力が必要だと思うが。

【教育】誘導路が出来れば児童生徒の自然環境教育に寄与できる。



青木茂樹 (1期) (志政会)

「スポーツ振興で唐津を元気にIV」について

【質問】唐津レオブラックスの応援活動について市

の考えは。

【未来】今年チーム設立初年度であり、まずは市

民の皆様がチームの存在を広く知ってもらい、浸

透させることが重要と考え、応援の気運づくりを

目的とした広報宣伝活動に取り組んできた。具体

的には、ホームページや行政放送によるチーム紹

介をはじめ、地元開幕戦となった6月30日の大会

においては、来場者に「唐津レオブラックス応援

援うちわ」を配布するなど、チームの周知や大会の盛り

上げに努めた。

【質問】唐津レオブラックスとの連携については。

【未来】今後の連携や交流事業の実施としては、ま

ず、お互いが、相手に対して希望する項目等を協議

のテーブルに乗せ、検討を重ねていく。

【質問】鳴戸部屋の誘致と支援については。

【未来】本年の受け入れにおいては、昨年の経験を

生かし、よりスムーズなおもてなしや交流が可能と考

えており、市としても、市のPRや活性化につな

がるよう、鳴戸部屋や関係団体の意向も伺いながら、

積極的に支援したいと考えている。

【質問】国民スポーツ大会に向けた施設整備は。

【未来】主なものとして「文化体育館」の経年劣

化による外壁の補修を、今年から4か年で計画。

各体育館のトイレ改修については、近年の生活ス

タイルや障害のある方を含む全ての方の利用に配

慮し、トイレの洋式化を計画。



福島尚美 (日本共産党 唐津市議団)

ふるさと寄附金制度の活用について

【質問】唐津焼の返礼品登録数が少ないようだが、

どう考えているか。

【経観】9月11日時点で7事業者31品目が登録。全

体の約6%。唐津焼のPR効果も期待され、登録

件数の増加は必要。関係者に促していきたい。

【質問】返礼品に「訪問見守りサービス」を登録

している市町があるが、本市の一人暮らし高齢者の

数と見守り事業は。

【保健】平成27年の国税調査によると5484人。

見守り事業は「地域住民グループ支援事業」「高

齢者見守りネットワーク事業」「緊急通報システム

事業」「要介護高齢者配食サービス事業」を実施。

【質問】見守り事業開拓の余地はあると思うが「見

守りサービス」を返礼品に登録してはどうか。

【政策】ふるさと納税の目的に合致しており、検討

人材育成について

【質問】職員研修の実施状況は。

【総務】自己啓発研修を約20名、基本能力研修を200

～300名、行政課題研修を延べ2500名、職能別

研修を50～80名、能力開発研修を80～100名、派遣

研修を約10名が毎年度受講している。

【質問】「人を育てる人を育てる」観点が必要と思

うが管理職向け研修の受講状況は。

【総務】昇任後1～3年未満に受講するが外部研修

の定員制限や、業務のため受講していない管理職

もいる。

【質問】定員制限のない独自の管理職研修の充実

は。

【総務】マネジメント力やコーチング力の向上に役

立つ研修を来年度の計画に組み込みたい。



決算関連議案質疑

提出された16件の決算関連議案に対して各会派から17名の議員が質疑を行いました。要約して報告します。

凡例

総務…総務部長、政策…政策部長、財務…財務部長
市民…市民部長、保健…保健福祉部長
農水…農林水産部長、経観…経済観光部長
未来…未来創生部長、都市…都市整備部長
ボ企…ボートレース企業局長、教育…教育部長

1. 企画費「新エネルギー創出事業費」……3,199万1,990円

質 疑 事業概要と最終的な調査結果、また今後の展開は。

答弁【政策】 市内の再生可能エネルギーの賦存量がどれくらいあるのか、また、どれくらい電力を消費しているのかなどのアンケート調査を実施した。電力供給の可能性のある年間の総発電量は約2億8千3百万kw/hが、電力消費調査に関しては約3千2百万kw/hが確認出来た。この事から地産地消のエネルギー循環を目指す、地域エネルギー会社創設の可能性が見えてきた。今後は、地域エネルギー会社創設の際、事業内容の整理を行う予定。

2. 商工費「唐津ブランド推進事業費」……1,414万168円

質 疑 首都圏青果店でテストマーケティングを実施した内容と成果は。

答弁【経観】 平成29年11月10日から12月9日まで、東京都内で8店舗の青果店を展開する「旬八青果店」で、柑橘類を中心としたテストマーケティングを実施。露地みかんの特徴やこだわりなど、特に和歌山県産との品質の違いを打ち出した商戦により、多くの消費者に評価頂き、旬八青果店と唐津中央青果市場とで継続した取引につなげる成果をあげた。これまでの実績は平成29年11月から平成30年の8月までで11品目約10トンが取引された。

3. 道路橋りょう費「こどもを守る通学路づくり事業費」……1,019万5,200円

質 疑 小学校、教育委員会、警察とで行った通学路合同点検の結果と、カラー舗装整備の考え方は。

答弁【都市】 谷間代先大石線、百人町線、虹の松原宇木線、中原久里線、瀬田原二号線等が要対策箇所となっていて引き続き事業を実施していく。カラー舗装整備の考え方については、まず外側線がない区間については外側線を設置し、外側線がある区間については、学校から要望があり、かつ警察も含めた通学路合同点検において、カラー舗装が必要であると判断した場合についてカラー舗装を実施している。

4. 教育総務費「ICT教育推進事業費」……9,350万4,199円

質 疑 実施した概要、また離島教育における効果は。

答弁【教育長】 小中学校の各学級に電子黒板を配備し、特別支援学級には電子黒板及びタブレット型情報端末を配備。離島教育ではテレビ会議システムを用い、地理的環境に左右されずに教育の質を確保する取組みを実施。効果は児童が意見を出し合ったり、たくさんの人数の前で発表したりする機会を得たことで、公の場で堂々と話せるようになってきているなど教育格差の解消の一助となった。

平成29年度 唐津市

一般会計、特別会計、企業会計の各決算を認定しました!



タマネギ乗用管理機整備事業補助金

一般会計決算

685億 154万6,150円

特別会計決算

408億9,720万2,908円

企業会計決算

542億1,263万3,966円



はしご車更新費



観光地域づくり事業費
「祭 WITH THE KYUSYU」

意見書 (要旨)

市議会では、意見書として、権限を持っている行政機関に提出し、解決を求めるために議会としての意思を表明しています。

意見書第9号 ◎下水道施設の改築への国費支援の継続に関する意見書

国におかれては、下水道事業の継続的かつ計画的な遂行により、将来にわたり市民の安全安心な暮らしを守るとともに、公共用水域の水質を保全していくため、下水道施設の改築に対する国費支援を継続するよう、強く要請する。

意見書第10号 ◎児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書

意見書第11号 ◎原子力損害賠償措置額の大幅な引き上げを求める意見書

意見書第12号 ◎地方財政の充実・強化を求める意見書

意見書の全文及び提出先は、唐津市議会のホームページで閲覧できます。

委員会の現地調査

総務教育委員会



中部分署（石志）

都市整備委員会



佐志平木場線（竹木場）

産業経済委員会



観音の滝（七山）

市民厚生委員会



地域共生ステーション（和多田）

唐津市議会には4つの常任委員会
が設置されています。付託された
議案等の中から、現地確認が必要
な箇所を選定し調査しています。



唐津市議会議員 第4期

平成30年10月16日（旧議場にて）

「唐津市議会だより」編集委員会メンバー

- | | |
|--------------|-----------|
| ・委員長 富田 幸樹 | ・委員 林 正樹 |
| ・副委員長 大西 康之 | ・委員 江里 孝男 |
| ・編集長 吉村慎一郎 | ・委員 馬場 幸年 |
| ・委員 原 雄一郎 | ・委員 福島 尚美 |
| ・委員 青木 茂(1期) | ・委員 伊藤 一之 |
| ・委員 古藤 宏治 | ・委員 宮本 悦子 |
| ・委員 山下 壽次 | |

編集後記

今年も残りすくなくなりました。
議会だより編集委員会と致しましては、カラー
ページを増やす、フェイスブックに掲載する
等、より多くの市民の皆様にご覧いただける様
考えております。「より読みやすく」をモットー
に、編集作業を行って参りますので、皆様
のご意見、ご感想をお願い致します。

◎ 発行：唐津市議会
◎ 編集：「唐津市議会だより」編集委員会
唐津市議会事務局内
☎ 72-9162 FAX 75-1515
(☎847-8511 佐賀県唐津市西城内1番1号)

（「唐津市議会だより」は再生紙を使用しています）